

安城市の福祉に関するアンケート調査

ご協力のおねがい

現在、安城市では、子どもの皆様をはじめ、誰にとっても住みやすいまちづくりのために、福祉の充実に向けた計画づくりをすすめています。

このアンケート調査は、18歳未満の市民の皆様から、障害のある人や福祉などについてのご意見をお伺いし、計画づくりの参考にさせていただくことを目的としています。

なお、このアンケートには名前を書きませんので、あなたが答えたアンケートであることは、誰にもわかりません。安心して自分の思ったとおりに答えてください。もし、内容がむずかしい場合は、家族の方などと一緒に回答してください。

安城市がよりよいまちとなるよう、ご協力をお願いいたします。

令和7年11月 安城市長 三星 元人

記入にあたってのおねがい

- 質問番号の順に、鉛筆か、黒または青のボールペンで、あてはまる番号に○をつけてください。質問によっては文字・数字を記入するものもあります。
- 答えたくない質問は、回答しないで次に進んでください。
- 特に指示がない場合は、アンケートの記入時点の状況で回答してください。
- すべて書き終わったら、同封の返信用封筒に入れ、12月19日（金）までにポストに入れてください。（切手を貼る必要はありません。）
- このアンケートは、パソコンやスマートフォンからでも回答できます。次のアドレスまたは左下の二次元コードを読み取って、回答してください。（パソコンやスマートフォンで回答した場合、この調査票を郵送しないでください。）

【回答URL】

二次元コード

このアンケートについてわからないことがありましたらご連絡ください。

安城市役所 福祉部 障害福祉課 障害福祉係
電話 0566-71-2225 FAX 0566-74-6789

とい 問 1 あなたは何歳ですか。(数字を記入)

さい れいわ ねん がつ にちじてん
歳 (令和 7 年 1 1 月 1 日時点)

とい 問 2 あなたの性別を教えてください。(○は 1 つ)

おとこ おんな かいどう
1. 男 2. 女 3. 回答しない

とい 問 3 あなたの身近に障 害のある人がいますか。または、これまでにいたことがありますか。(○はいくつでも)

かぞくとう がっこう
1. 家族等にいる(いた) 2. 学校にいる(いた)
となりきんじょ
3. 隣 近所にいる(いた)
じゅく なら ごと しゅみ かつどう ば
4. 塾 や習い事、趣味などの活動の場にいる(いた)
た
5. その他()
みぢか
6. 身近にいたことはない

とい 問 3-1～3 は、問 3 で「1. 家族等にいる(いた)」を選んだ方にお聞きます。

とい 問 3-1 それはだれですか。(○はいくつでも)

とう かあ えら かた き
1. お父さん 2. お母さん 3. おじいちゃん 4. おばあちゃん
あにあね おとうといもうと た
5. きょうだい (兄姉・弟 妹) 6. その他()

とい 問 3-2 困ったことや悩みなどがありますか。(○はいくつでも)

しょうがい かぞくとう てつだ
1. 障 害のある家族等のお手伝いをするため、やりたいことができないことがある
しょうがい かぞくとう
2. 障 害のある家族等とけんかをしてしまう
ひと しょうがい かぞく りかい
3. まわりの人が、障 害のある家族のことを理解してくれない
しんがく しゅうしよく かいご しょうらい ふあん
4. 進学や就 職、介護など、将 来のことが不安である
おな かんきょう ひと はな まわ
5. 同じような環 境にある人と話したいが周りにいない
とく こま なや
6. 特に困ったことや悩みなどはない
た
7. その他()

とい 問 3-3 そのほか、具体的な悩みや相談したいことなどがあれば自由に書いてください。

じゅう きにゅう
(自由に記入)

問4 あなたは、これまで障害のある人の手助けをしたことがありますか。(〇は1つ)

1. ある

2. ない

問4-1 は、問4で「1. ある」を選んだ方にお聞きします。

問4-1 あなたが実際に 行った手助けは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 階段などで手をかしたり、車いすを押した
2. 荷物を代わりに持ったり、高いところの物をとったりした
3. 身のまわりの介助(着替え、食事など)をした
4. 外出するときにつきそいをした
5. 家事のお手伝いをした(掃除、洗濯、調理など)
6. 日常の見守りや話し相手をした
7. 急病や災害などの緊急時の手助けをした
8. 代わりに電話をかけたり書類を書いたりした
9. 聞こえない・聞こえにくい人のために手話や文字、身振りなどで伝えた
10. 見えない・見えにくい人のために朗読活動を行ったり点字で伝えたりした
11. その他()

問4-2 あなたが手助けをしようと思った理由を教えてください。

(自由に記入)

問5 あなたは、障害者福祉に関するボランティア活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 現在、すでに参加している | 2. 参加していないが、ぜひ参加したい |
| 3. できれば参加したい | 4. あまり参加したくない |
| 5. 参加したくない | 6. わからない |

問5-1 は、問5で「1」～「3」を選んだ方にお聞きします。

問5-1 どのような活動をしたいですか。現在参加している方は、すでに参加しているものを選んでください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. スポーツ・イベントなどの手伝い | 2. 朗読・代読 |
| 3. 手話・筆談・要約筆記 | 4. 学習活動・趣味活動などの支援 |
| 5. 災害時の支援 | 6. 外出時の支援(送迎を含む) |
| 7. 話し相手 | 8. 居場所の提供 |
| 9. 家事のお手伝い(掃除・洗濯・調理・育児など) | |
| 10. その他() | |

問 5-2 は、問 5 で「1」～「3」を選んだ方にお聞きします。

問 5-2 障害者福祉に関するボランティア活動に参加したいと思った理由を教えてください。

(自由に記入)

問 5-3 は、問 5 で「4」または「5」を選んだ方にお聞きします。

問 5-3 障害者福祉に関するボランティア活動に参加したくないと思った理由を教えてください。

(自由に記入)

問 6 障害のある人と同じ地域で一緒に暮らしていけるようにするためには、どのようなことが大切だと考えますか。(〇はいくつでも)

1. 子どもの頃から障害のある人と交流する
2. イベント、スポーツ、ボランティアなどで障害のある人と交流する
3. 身近な地域で、障害のある人と住民とが交流する
4. 学校で障害について学ぶ
5. 家庭で障害について学ぶ
6. 講演会や学習会などで、障害について学ぶ
7. 広報紙や SNS などで障害を理解することについて発信する
8. 障害のある人が働く場を増やすなど、社会参加を進める
9. その他()

問 7 障害のある人にとって安城市は住みやすい地域だと思いますか。(〇は 1 つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 住みやすいと思う | 2. やや住みやすいと思う |
| 3. やや住みにくいと思う | 4. 住みにくいと思う |
| 5. わからない | |

問 7-1 は、問 7 で「3」または「4」(住みにくい)を選んだ方にお聞きします。

問 7-1 住みにくいと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 障害について理解している人が少ない
2. 道路や施設などがバリアフリーでない
3. 障害のある人への支援サービスが少ない
4. ボランティアをする人が少ない
5. その他()

とい しょうらい しょうがい ひと せいかつ さき しごと
問8 あなたは、将来、障害のある人の生活を支える仕事をしてみたいです。 (○は1つ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. してみたい | 2. どちらかといえばしてみたい |
| 3. あまりしてみたくない | 4. してみたくない |
| 5. わからない | |

とい とい おも り ゆう おし
問8-1 問8でそう思った理由を教えてください。

(自由に記入)

とい しょうがいしゃふくし まな
問9 あなたは、障害者福祉について学んだことがありますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 学校の授業で学んだ | |
| 2. 家族から教えてもらった | |
| 3. テレビやインターネットなどから学んだ | |
| 4. 自分で本などから学んだ | |
| 5. その他() | |
| 6. 学んだことはない | |

とい つぎ しょうがいしゃふくし がくしゅう
問10 あなたは、これから次のような障害者福祉の学習をしてみたいです。 (○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. アイマスクや車いす、手話や筆談、点字などの体験 |
| 2. 介護・介助の体験 |
| 3. 補助犬 (盲導犬、介助犬、聴導犬) についての理解 |
| 4. 施設などへの訪問や障害のある人、子どもとの交流 |
| 5. まちのバリアフリー調査 |
| 6. どれもしてみたいと思わない |
| 7. その他 () |

問11 障害のある人を支援するための様々なマークについて、知っているものはありますか。(○はいくつでも)

	1. 障害者のための国際シンボルマーク		2. 身体障害者標識 (身体障害者マーク)
	3. 聴覚障害者標識 (聴覚障害者マーク)		4. 盲人のための国際シンボルマーク
	5. 耳マーク		6. ほじょ犬マーク
	7. オストメイト用設備／オストメイト		8. ハート・プラスマーク
	9. ヒアリングループマーク		10. 「白杖 SOS シグナル」普及啓発シンボルマーク
	11. ヘルプマーク		12. 手話マーク
	13. 筆談マーク		14. 知っているマークはない

問12 障害のある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるためには、安城市がどのようなことに取り組んだ方が良いと思いますか。(○は3つまで)

1. 障害のある人が相談できる場所や支援する人などをふやす
2. 医療などが必要な障害のある人を支援する
3. 障害のある人が働きやすくする
4. 障害のある人のレクリエーションの場をふやす
5. いろいろな障害について、まわりの理解を深める
6. 障害のある人への差別をなくす
7. 発達障害がある人への支援をふやす
8. 障害者スポーツや文化・芸術活動を活発にする
9. 災害のときの支援体制を整える
10. 障害のある人となない人との交流の機会をふやす
11. 障害のある人が安心して住める住居をふやす
12. その他()

■^{あんじょうし}安城市^{しょうがい}の障害^{ひと}のある人^{いけん}のまちづくりなどについてご意見^{きにゆう}がありましたら、ご記入^{きにゆう}ください。

^{ちょうさ}調査^{きょうりよく}にご協力^{きょうりよく}いただき、ありがとうございました。

^{きにゆう}記入^{ちょうさひよう}した調査票^{どうふう}は、同封^{へんしんよう}の返信用^{ふうとう}の封筒^いに入れて、切手^{きって}を貼^はらずに、

^{がつ}12月^{にち}19日^{きん}(金)^いまでにポスト^いに入れてください。なお、インターネットで
^{ちょうさ}この調査^{かいとう}に回答^{ばあい}した場合は、この調査票^{ちょうさひよう}の郵送^{ゆうそう}は不要^{ふよう}です。



■障害のある人を支援する様々なマーク（内閣府HP「障害者に関するマークの一例」から引用）

	障害者のための国際シンボルマーク	障害者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。すべての障害者を対象としたもので、車椅子使用者に限定したものではありません。
	身体障害者標識 (身体障害者マーク)	肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークで、マークの表示については、努力義務となっています。
	聴覚障害者標識 (聴覚障害者マーク)	聴覚障害であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークで、マークの表示については、義務となっています。
	盲人のための国際シンボルマーク	世界盲人連合で 1984年に制定された盲人のための世界共通のマークです。視覚障害者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。信号機や国際点字郵便物・書籍などで身近に見かけるマークです。
	耳マーク	聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。また、窓口等に掲示されている場合は、聴覚障害者へ配慮した対応ができることを表しています。
	ほじょ犬マーク	身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。身体障害者補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のことを言います。「身体障害者補助犬法」において、公共の施設や交通機関はもちろん、デパートやスーパー、ホテル、レストランなどの民間施設は、身体障害のある人が身体障害者補助犬を同伴するのを受け入れる義務があります。
	オストメイト用設備／オストメイト	オストメイトとは、がんなどで人工肛門・人工膀胱を造設している排泄機能に障害のある障害者のことをいいます。このマーク（JIS Z8210）は、オストメイトのための設備（オストメイト対応のトイレ）があること及びオストメイトであることを表しています。
	ハート・プラスマーク	「身体内部に障害がある人」を表しています。身体内部（心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能）に障害がある方は外見からはわかりにくいので、さまざまな誤解を受けることがあります。
	ヒアリングループマーク	「ヒアリングループマーク」は、補聴器や人工内耳に内蔵されている T コイルをつかって利用できる施設・機器であることを表示するマークです。このマークを施設・機器に掲示することにより、補聴器・人工内耳装用者に補聴援助システムがあることを知らせ、利用を促すものです。
	「白杖 SOS シグナル」 普及啓発シンボルマーク	白杖を頭上 50cm 程度に掲げて SOS のシグナルを示している視覚に障害のある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖 SOS シグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。
	ヘルプマーク	義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。
	手話マーク	聞こえない・聞こえにくい人が手話言語でのコミュニケーションの配慮を求めるときに提示したり、役所、公共及び民間施設・交通機関の窓口、店舗など、手話言語による対応ができるところが提示できます。
	筆談マーク	聞こえない・聞こえにくい人、音声言語障害者、知的障害者や外国人などが筆談でのコミュニケーションの配慮を求めるときに提示したり、役所、公共及び民間施設・交通機関の窓口、店舗など、筆談による対応ができるところが提示できます。